

登録コード	UAA29500	開講年度	2026			
授業題目	歴史学実践演習Ⅱ				担当教員	豊岡 康史
					副担当	佐藤 真紀・新津 健一郎
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・1時限	
				授業形態	演習	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学					
	【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。				⇔	歴史学における方法論を、特にアナール派の手法を通じて習得する。原著・訳書の比較を通じて、高度な言語能力を涵養する。
	【人間文化学】高度な言語運用能力とコミュニケーション能力を基盤として、多領域のステークホルダーと協働し、現代社会の課題に取り組みながら、独創的かつ多文化共生的な英知の創成と提案を行う力を有する。				⇔	歴史学における方法論を、特にアナール派の手法を通じて習得する。原著・訳書の比較を通じて、高度な言語能力を涵養する。
	【人間文化学】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。				⇔	歴史学における方法論を、特にアナール派の手法を通じて習得する。社会史の手法から、社会構造変動のあり方を理解する。
(2)授業の概要	20世紀の歴史学に大きな影響を与えた潮流として、アナール派歴史学がある。日本においては、このアナール学派の独特な形での受容がみられた。その受容のあり方を、独自性の原因となった日本の状況にも目を配りながら、いくつかのテキストを精読することで確認し、今日、西洋史・東洋史を研究するあるいは教えることの意味を考える。					
(3)授業計画	授業計画 第1回：ガイダンス 佐藤 第2回：阿部謹也『自分のなかに歴史を読む』を読む 佐藤 第3回：報告・討論ー西洋史・東洋史を学ぶこと 佐藤 第4回：二宮宏之『全体を見る眼と歴史家たち』を読む 豊岡,新津 第5回：報告・討論ーアナール学派とその解釈 豊岡,新津 第6回：二宮宏之『マルク・ブロックを読む』を読む 豊岡,新津 第7回：報告・討論ーマルク・ブロックの時代、二宮宏之の時代 豊岡,新津 第8回：報告・討論ー二宮史学とアナール学派 豊岡,新津 第9回：二宮史学への反論ー遅塚忠躬『史学概論』を読む 佐藤 第10回：報告・討論ー因果関係と相互連関性 佐藤,新津 第11回：米英からみたアナール学派ーリン・ハント編『文化の新しい歴史学』を読む 豊岡,新津 第12回：報告・討論ーアナール学派と文化史・社会史 豊岡,新津 第13回：歴史学批判ーヘイドン・ホワイト『メタヒストリー』を読む 佐藤 第14回：報告・討論ー歴史的リアリズムの批判的分析 佐藤 第15回：まとめ 佐藤 定期試験 なし					
(4)成績評価の方法	●以下を総合して判定する。 授業への取り組み方（70%）、レポート（30%） ※評価割合は若干の調整を行うことがある。 ●得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀、89-80% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可。					
(5)成績評価の基準	【卓越している】歴史学研究法に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考える力を総合して、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】歴史学研究法に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考える力を総合して、非常に高い水準にある。 【やや上にある】歴史学研究法に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考える力を総合して、高い水準にある。 【その水準にある】歴史学研究法に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考える力を総合して、一定水準にある。					
(6)事前事後学習の内容	テキストの自主的な読み込みが必要。担当箇所は分けず、全て目を通した状態での授業への参加を求める。					
(7)履修上の注意	英語、中国語、日本語の読解能力を必須とする。プレゼンテーションを行う際の言語は英語、中国語、日本語のどれでも構わない。					
(8)質問,相談への対応	maquis@shinshu-u.ac.jpへ連絡の上、アポイントメントをとること。					
【教科書】	阿部謹也『自分のなかに歴史を読む』筑摩書房、1988年、2007年。 二宮宏之『全体を見る眼と歴史家たち』木鐸社、1986年、平凡社、1995年。 二宮宏之『マルク・ブロックを読む』岩波書店、2007年、2016年。 遅塚忠躬『史学概論』東大出版会、2010年。 リン・ハント編筒井清忠訳『文化の新しい歴史学』岩波書店、1993年、2015年。 ヘイドン・ホワイト『メタヒストリー』作品社、2017年。					
【参考書】	マルク・ブロック(松村剛訳)『歴史のための弁明ー歴史家の仕事ー』岩波書店、2004年。					